

正誤表(環境関連データ集)

P1. OUT PUT 事業活動による環境負荷

正		誤	
●廃棄物の発生		●廃棄物の発生	
産業廃棄物・一般廃棄物		産業廃棄物・一般廃棄物	
発生量	98.3万 t	発生量	103.6万 t
再資源化量	96.1万 t	再資源化量	101.3万 t
処分量	2.3万 t	処分量	2.3万 t
再資源化率	97.7%	再資源化率	97.8%

P3. 廃棄物発生量・再資源化量 (2022 年度)

正					誤				
			単位	2022 年度				単位	2022 年度
発生量	産業 廃棄物	石炭灰	万 t	70.4	産業 廃棄物	石炭灰	万 t	75.6	
		脱硫石膏		17.8		脱硫石膏		17.8	
		建設廃材等		10.1		建設廃材等		10.1	
	一般廃棄物	0.2		一般廃棄物	0.2				
	合計	98.3		合計	103.6				

P3. 廃棄物発生量・再資源化量（2022年度）

正					誤				
			単位	2022年度				単位	2022年度
再資源化量	産業廃棄物	石炭灰	万 t	69.6	再資源化量	産業廃棄物	石炭灰	万 t	74.8
		脱硫石膏		17.7			脱硫石膏		17.7
		建設廃材等		8.7			建設廃材等		8.7
	一般廃棄物			0.1		一般廃棄物			0.1
	合計			96.1		合計			101.3
処分量	産業廃棄物	石炭灰	万 t	0.8	処分量	産業廃棄物	石炭灰	万 t	0.8
		脱硫石膏		0.1			脱硫石膏		0.1
		建設廃材等		1.4			建設廃材等		1.4
	一般廃棄物			0.0		一般廃棄物			0.0
	合計			2.3		合計			2.3
再資源化率	産業廃棄物	石炭灰	%	98.9	再資源化率	産業廃棄物	石炭灰	%	98.9
		脱硫石膏		99.5			脱硫石膏		99.5
		建設廃材等		86.3			建設廃材等		86.3
	一般廃棄物			80.3		一般廃棄物			80.3
	合計			97.7		合計			97.8

P6. 環境会計（経済効果）

正			
<p>経済効果について、火力発電所の高効率ユニットの稼働割合の増加に伴い熱効率が向上したことにより、燃料費の節減額が増加し、<u>335.0 億円</u>となり、前年度に比べて、<u>35.7 億円</u>増加しました。</p>			
分類	主な項目	経済効果額（億円）	
		2021 年度	2022 年度
環境管理	環境管理活動による電気使用量、自動車燃料使用量、事務用紙使用量等の節減額	0.3	0.4
地球環境保全	火力発電所の熱効率対策による燃料費の節減額	123.0	191.2
地域環境保全	環境規制物質の排出抑制による法定負担金の節減額	26.5	22.0
循環型社会構築	石炭灰、脱硫石膏、金属くず等の売却額	21.4	24.2
	産業廃棄物の減量化・再資源化等による処分費の節減額	128.1	<u>97.2</u>
合計		299.3	<u>335.0</u>
環境収益率（%）		140.9	<u>115.3</u>

誤			
<p>経済効果について、火力発電所の高効率ユニットの稼働割合の増加に伴い熱効率が向上したことにより、燃料費の節減額が増加し、344.1 億円となり、前年度に比べて、44.8 億円増加しました。</p>			
分類	主な項目	経済効果額（億円）	
		2021 年度	2022 年度
環境管理	環境管理活動による電気使用量、自動車燃料使用量、事務用紙使用量等の節減額	0.3	0.4
地球環境保全	火力発電所の熱効率対策による燃料費の節減額	123.0	191.2
地域環境保全	環境規制物質の排出抑制による法定負担金の節減額	26.5	22.0
循環型社会構築	石炭灰、脱硫石膏、金属くず等の売却額	21.4	24.2
	産業廃棄物の減量化・再資源化等による処分費の節減額	128.1	106.2
合計		299.3	344.1
環境収益率（%）		140.9	118.4